

世界の文豪シリーズ 3

プルーストの『失われた時を求めて』

—主人公〈私〉の無名性説をめぐって—

2018年
11月28日 水

講演者 林 良児 (フランス語学科 教授)

時間 13:20~14:50

場所 名古屋外国語大学
図書館5階 多目的室

主催 名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

後援 創立30周年記念事業委員会

対象 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学、
学生、教職員、一般市民など

現代文学の分水嶺と称されるこの小説の主人公の呼び名については、「物語の語り手」、「語り手の私」、「物語の主人公」、「主人公の私」、「マルセル」など、研究者のあいだで解釈が二つに分かれている。すなわち、「マルセル」と、それ以外の無名の「私」とである。「私」にはマルセルという名前があるのだろうか？それとも、「私」は無名なのだろうか？『失われた時を求めて』の読者が、「長いあいだ、私は早く床に就いた」というこの作品の冒頭の一文から直面する「私」の呼称の問題について考えます。

参加
無料

世界の文豪シリーズ 次回以降の予定

第1回 ナボコフ *Vladimir Vladimirovich Nabokov*
講演者 諫早 勇一 (世界教養学科 教授)
開催時期 6月27日 (水)

第2回 ディケンズ *Charles Dickens*
講演者 甲斐 清高 (英米語学科 准教授)
開催時期 10月24日 (水)

第3回 プルースト *Marcel Proust*
講演者 林 良児 (フランス語学科 教授)
開催時期 11月28日 (水)

第4回 フォークナー *William Faulkner*
講演者 梅垣 昌子 (英米語学科 教授)
開催時期 12月12日 (水)

第5回 マルケス *Gabriel García Márquez*
講演者 野谷 文昭 (世界教養学科 教授)
開催時期 1月7日 (月)



林 良児

1949年福島県白河市生まれ。中央大学文学部卒業。1978年同大学院文学研究科仏文学専攻博士課程単位取得退学。愛知県立大学名誉教授。現在名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科教授。専攻はフランスの19世紀後半から20世紀前半までの文学と絵画。著書に『愛に生きたフランス女流作家たち』(三省堂、共著)、『限りなき視線』(駿河台出版社、共著)、Index Général de la Correspondance de Marcel Proust (Presse de l'Université de Kyoto、共著)など。

■ 申込み方法

当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。

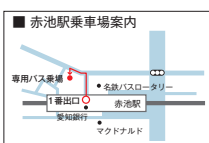
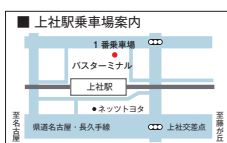
<https://req.qubo.jp/wlac/form/20181128>



■ 本学へのアクセスについて ■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

0561-75-2164
wlac_gg@nufs.ac.jp



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。